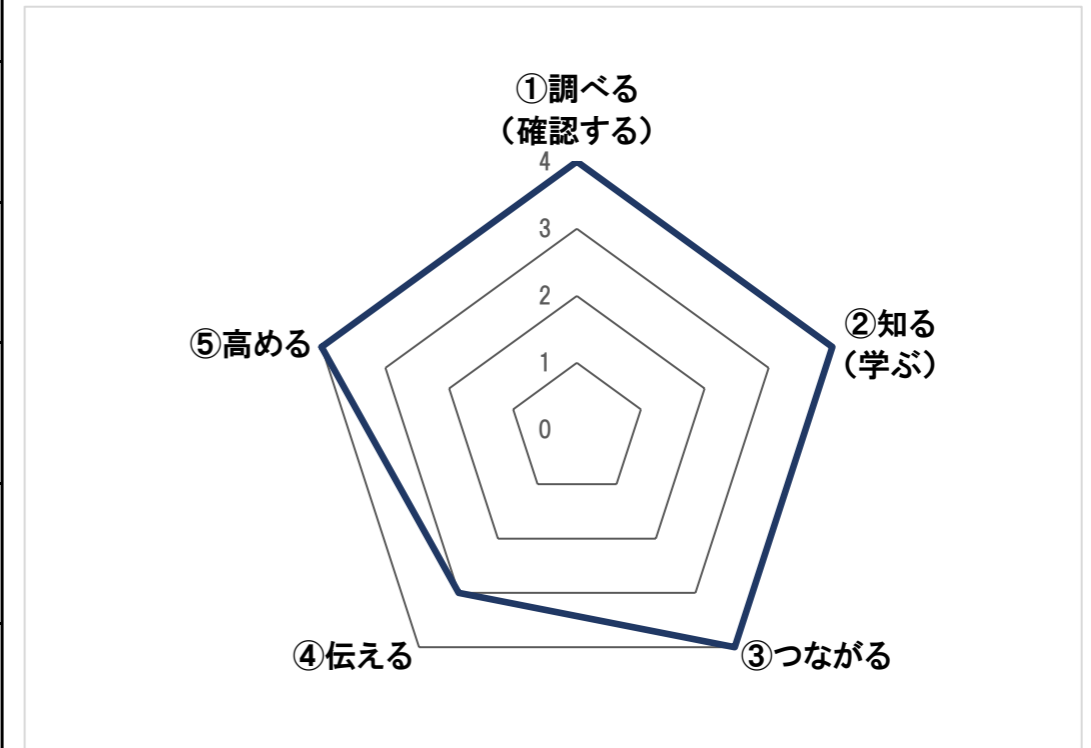


# 青葉小学校区

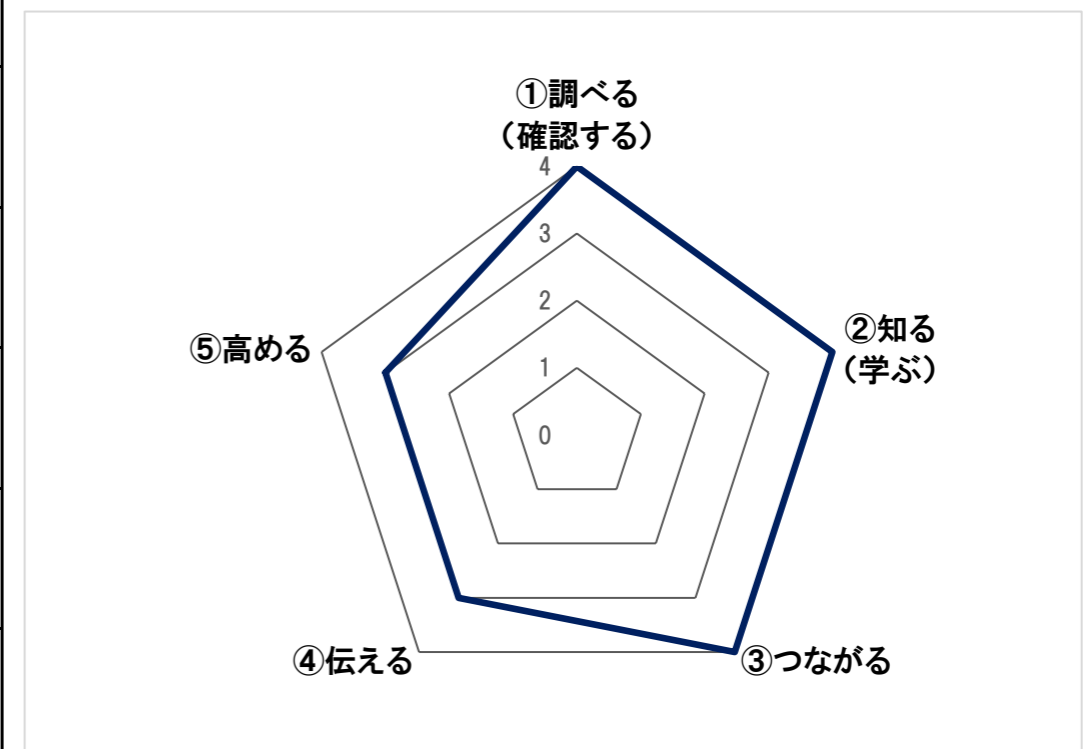
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	各町内会の推進状況や取り組み等を把握しながら地域間の情報を実践活動に活かしている。現在、小地域ネットワーク活動は11町内会中9町内会が実施、また独自で1町内会実施している状況にある。実施率は81.8%(昨年度72.7%) 平成30年度社協主催の「新しい支え合いの地域づくりを考えるセミナー」で若緑町内会のいきいきサロン結の事例発表を行い、周知をしたところである。 校区推進委員会の会議を2回開催、さらに地区連役員会等で活動を報告している。	4	引き続き実施したい。特に小地域ネットワーク活動は、2町内会を残すのみ。
②知る (学ぶ)	住民座談会から研修会(校区推進委員会・青葉地区連共催)の形で2月15日に開催した。今回のテーマは「これから求められる地域づくり～人口減少・環境変化から考える」で町内会長・推進委員・民生委員等の参加で現状を認識し、これからの「地域共生社会」を目指すための意見交換などを図ることができた。	4	引き続き実施したい。
③つながる	本校区推進委員会は、地区連福祉部を兼ねた組織体制で行っているため、校区内の各町内会の福祉部とつながっている。また、地区連役員会においてもきずな計画の推進状況等を報告し、各町内会長に理解と協力を求めた。 さらに2年目であるが行政が推進している「あいサポート運動」の研修会を開催し、日常「障がい者(視覚障がい・車椅子)」に対して気軽にサポートできる意識づけができるための活動も行った。	4	引き続き実施したい。
④伝える	校区推進委員会や住民研修会を通してきずな計画(全市・校区)について進捗状況を知り、校区内の町内会役員等にきずな計画を伝えることが出来たと考えるが、一般の地域の方々への普及・理解等をもっと図る反省点がある。	3	引き続き実施したい。 組織的な役員と地域の一人ひとりの関わりや活動等の展開を考える必要があると考える。
⑤高める	住民研修会や推進委員会を通し、情報交換することで、日々の福祉活動に対する意識を高める場となっているため、会議を行う役割は大きい。	4	引き続き実施したい。



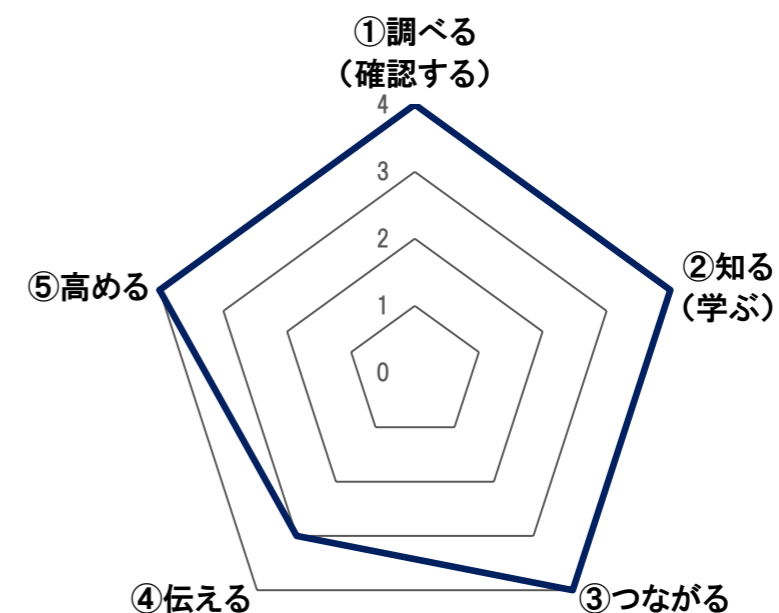
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	現在11町内会中9町内会が実施・・・1町内会増 また、独自の活動で1町内会実施。 実施率は校区内で81.8%である。	4	小地域ネットワーク活動の実施町内会100%を目指す取り組みを図る。さらに地区連の令和元年度の事業計画に織り込む。
②知る (学ぶ)	校区推進委員会や住民研修会等で小地域について説明をする場を設けた。また、きずなシンポジウム等の社協開催の事業への参加要請をした。	4	引き続き実施したい。
③つながる	本校区は地区連福祉部が校区推進委員会と兼ねた組織運営をしており、現状及び状況把握や連携が図りやすい。中には民生委員児童委員も兼ねている。 その他の諸団体とのつながりも重視しながらできるだけ共有してきた。	4	引き続き実施したい。 従来からの諸団体とは継続的に関わり、高齢者や介護施設等との関わり方を具体的に検討する必要があると考える。
④伝える	小地域ネットワーク活動でも特に「きずな安心キット」の普及までには取り組まれているが、そこからの展開がまだまだのようだ。特に世帯数の大きい町内会の展開では十分把握できていない。	3	引き続き実施したい。
⑤高める	小地域ネットワーク活動を中心に各種事業や行事等で説明したほか、子育て中の家族や高齢者を対象としても行った結果、「きずな」の実践が校区全体に広がりつつある。	3	小地域ネットワーク活動の全地域(町内会)導入を早期に目指すことを考える必要がある。 地域ごとで連携の取れた継続的な活動を行う必要がある。



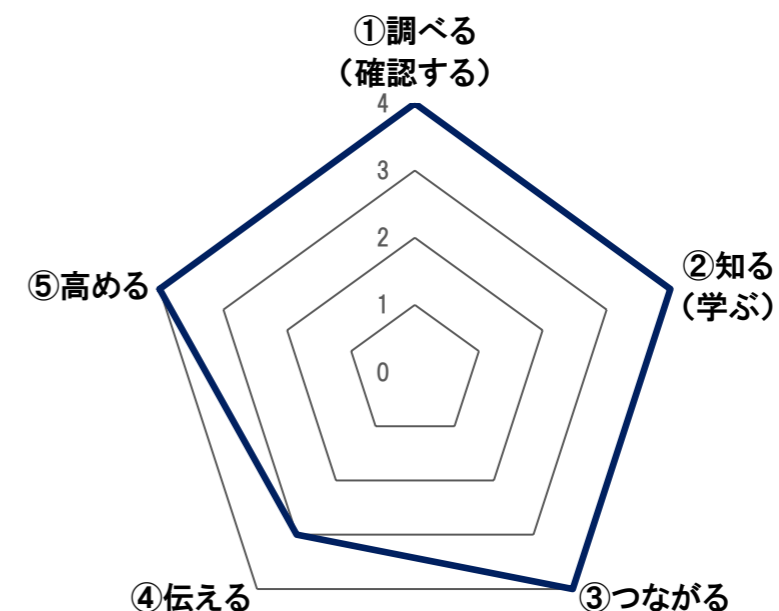
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	既存のサロン活動は定期的に行われている。 実施状況:サロン活動5団体、ふれあい会食会7町内会(63.6%)	4	サロン活動や町内会の会食会の団体を増やす取り組みを推進しながら既設団体の引き続き実施を推進する。
②知る (学ぶ)	サロン活動や会食会等を通して、高齢者等との関わりができた。 サロンサポーター連絡会に参加し、情報交換の中活動に活かした。	4	引き続き実施を推進する。
③つながる	サロンサポーター連絡会等の会議に出席し、他地区で行われている状況を把握しつつ、情報交換を通して市内のサロンサポーターや関係機関とつながることができた。	4	次年度も様々な情報を得られるよう連絡会等に参加したい。
④伝える	サロン活動や会食会等で「きずな」について話をする機会を設けてはいるが、その受け止めは定量的には把握できない。しかし参加者には浸透してきているものとする。	3	引き続き実施を推進する。
⑤高める	サロンについては、地域の居場所として機能している。また、会食会を開催することで地域で見守りが必要な人を把握することができた。	4	引き続き実施を推進する。



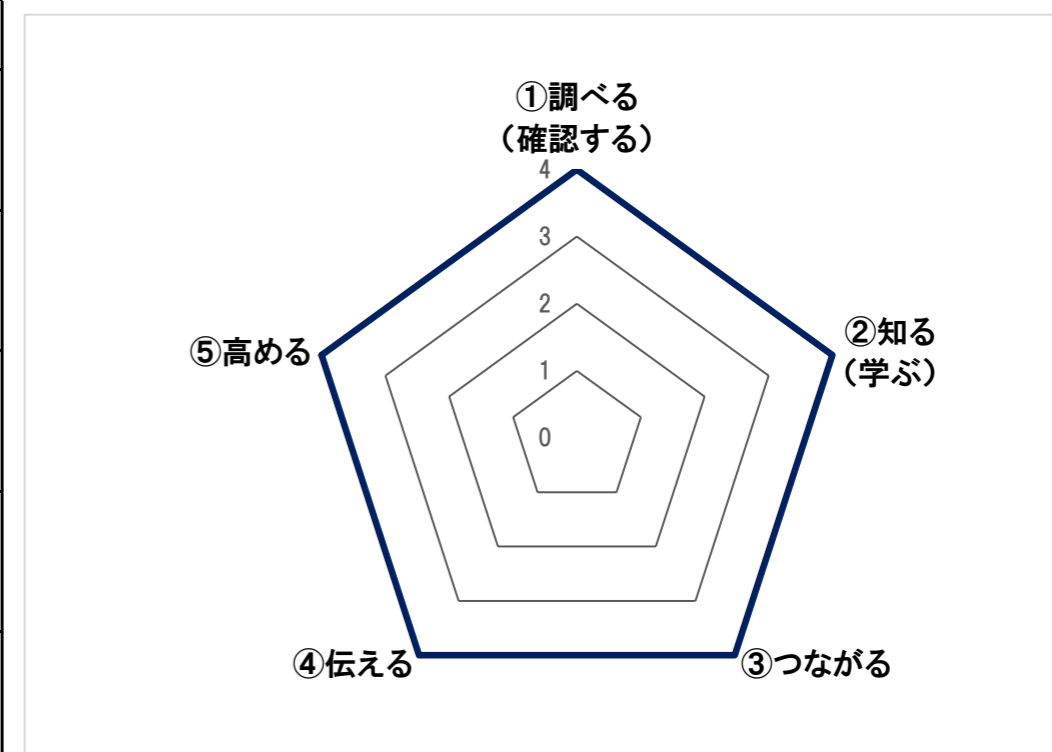
## 子育て及び高齢者福祉対策の推進

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	今年度は特に子ども見守り活動として登下校時の声かけや交通安全の啓発を中心に実施することができた。また、青パト車との連携も図りながら大きな活動の成果となったと考える。	4	長年の事業として諸団体との連携で引き続き実施を推進する。 さらに地区連で令和元年度の事業計画に織り込む。
②知る (学ぶ)	三地区育成会を通して、不審者情報や交通安全に関する情報を入手でき、さらに防犯活動にも連動させることができたと考える。	4	引き続き実施を推進する。 さらには高齢者への取り組みについて把握していく。
③つながる	三地区育成会(青葉小・富岸小・緑陽中)と連携を図りながら行った。 また、その他団体として「おやじの会」「子ども見守り隊」などさらにつながりのある活動になったと考える。 老人クラブとの関わりは、町内会ごとに行う中、安否や健康情報など行ってきた。	4	引き続き実施を推進する。 さらには高齢者への取り組みを行っていく。
④伝える	活動そのものがきずなの実践として定着している活動である。	3	引き続き実施を推進する。 さらには高齢者への取り組みについて把握していく。
⑤高める	見守りパトロールを行うことで、防犯はもちろんのこと、児童や地域住民への見守りにもつながっている。	4	引き続き実施を推進する。 さらには高齢者への取り組みについて把握していく。



## 防犯・防災対策で安心安全な生活環境づくり

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	昨年度に引き続き今年度も三地区育成会との合同津波避難訓練の実施ができ、学校側との共通認識が醸成できたことが大きな取り組みとなった。 単位町内会の実施については、自主性に任せられたものとなっており、実施した町内会も1,2あるが、地区連として合同の訓練ができたことが成果である。一般の参加者を増やす努力が必要と考える。	4	引き続き実施を推進する。 障がい者(視覚障がい・車椅子等)の避難訓練の必要性、特に公営アパートの階上問題
②知る (学ぶ)	地区連に独自の「自主防災連絡協議会」があり、会議の中で情報を共有できたと考え。特に合同避難訓練の実施要領が綿密に吐かれたと考える。 胆振東部地震の発生からブラックアウト発生がもたらした停電は、市民一人ひとりが日頃の災害に備える姿勢や意識の醸成が低いことが分かった。	4	引き続き実施を推進する。 停電対策用の非常用発電機の備蓄とその取扱い等、管理体制を整備する。 今後想定される外国人居住に伴う対応について(防犯上)
③つながる	主体的には「自主防災連絡協議会」をもって、各町内会との連携を図ることとしており、十分につながることができたと考え。また、市連合町内会の「緊急災害時情報伝達網」による各町内会とつながりが図れた。 今年度も三地区育成会との合同訓練を実施することができたことが大きな成果と考える。	4	引き続き実施を推進する。
④伝える	「自主防災連絡協議会」において、各町内会長・防災協力員に第3期きずな計画を確認しながら、日常における地域意識を高揚できたものとする。 さらに胆振東部地震での情報伝達等は、組織体制通り実施できた。	4	引き続き実施を推進する。 今年度も「緊急災害時情報伝達網」の見直し
⑤高める	昨年の反省を受けて、防災避難訓練の地区連として統一的な訓練をできたことが成果といえる。さらに展開できるものとする。	4	引き続き実施を推進する。 令和元年度の地区連事業計画に織り込む



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田渕 純勝
サブリーダー	桑井 孝子
サブリーダー	近藤 トシ子
きずな推進委員	吉田 伸吾
きずな推進委員	亀山 聖

校区きずな推進委員	堀尾 政江
校区きずな推進委員	楡井 政治
校区きずな推進委員	津川 正博
校区きずな推進委員	川村 憲子

校区きずな推進委員	池上 英彦
校区きずな推進委員	遠藤 正一
校区きずな推進委員	垣内 博

## 1. 校区活動

日にち	名称	人数	内容
5月29日	青葉小学校区リーダー・サブリーダー会議	4名	1. 平成29年度評価について
6月7日	第1回青葉小学校区きずな推進委員会	10名	1. 前年度の校区きずな活動の評価について 2. 前年度の青葉地区連合町内会の取り組み内容について 3. 今年度の取り組み内容について
6月21日	平成30年度あいサポート研修会	18名	1. あいサポート運動の概要 2. 講演「車椅子障がい者からのメッセージと体験」 3. 簡単な手話講座
8月10日	平成30年度自主防災研修会	23名	1. 講演「幌別ダムと幌別川の仕組み、台風18号集中豪雨に伴う避難指示」 2. 意見交換
2月1日	第2回青葉小学校区きずな推進委員会	12名	1. 今年度の活動内容について 2. 住民研修会の開催内容について
2月15日	青葉小学校区住民研修会	28名	1. 講義「これから求められる地域づくり～人口減少・環境変化から考える～」 2. 意見交換「私達がめざす暮らしのあり方」

## 2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

来福町内会	西川上町内会
新登津町内会	緑町団地町内会
青葉町青嶺高町内会	若緑町内会
あかしや町内会	若山団地町内会
市営住宅桜木自治会	

実施率 81.8% ( 9 / 11 )

## 3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

### ふれあい・いきいきサロン

いきいきサロン桜木	カラオケクラブ「シロクマ会」
いきいきサロン結	わかやまサロン
若山団地サロン	

### ふれあい会食会

来福町内会	桜木団地町内会
西川上町内会	新登津町内会
若緑町内会	あかしや町内会
若山団地町内会	

実施率 63.6% ( 7 / 11 )